

2017年度

アジア学院の 学生 & 研究科生

The Class of ARI 2017

農村指導者研修プログラム

Rural Leaders Training Program

南アフリカ South Africa



ドウドウジレ・プリンセス・ ンカビンデ

Ms. Duduzile Princess Nkabinde
日本国際ボランティアセンター
南アフリカ支部
JVC South Africa

農村企画指導員

Project Coordinator at JVC, Field Officer

① ドウドウ・Dudu

② 私は、南アフリカの日本国際ボランティアセンターに18年間勤め、教会学校で子どもたちに教え、聖歌隊を指揮しています。私は、リーダーシップの能力を高め、私のコミュニティで多くの利益をもたらしてくれるであろう有機農業を学ぶことで、自分の可能性を広げる必要があると考えています。

インドネシア Indonesia



リドワン・アウグスティヌス・ サモシール

Mr. Ridwan Agustinus Samsir
ペトラサ基金
PETRASA Foundation

農村グループ開発主任

Head of Farmer's Group Development Division

① リドワン・Ridwan

② 私はペトラサ基金の責任者として、北スマトラ高原地方の農家がお金を借りることができるよう手助けをし、慣行農法から有機農法への移行や、家庭菜園を通して食の安全性を向上できるよう働きかけています。アジア学院では、異なる背景や民族、宗教の学生たちと学ぶ生活から、農村のリーダーシップについてより深い見識を得たいと考えています。



フィンセンシア・ダシ

Ms. Vinsensia Dasi

聖クラレチアン宣教会 ルテン地区
Claretian, Diocese of Ruteng

農村グループ監督

Farming Group Supervisor

① センサ・Sensa

私たちは斜面が棚田に覆われた山の上に住み、化学肥料を用いて米を育てています。中でも私は、女性農家の人々を中心に一緒に働いています。私のコミュニティの平均寿命が40～50歳である中、人々の健康を増進させるために有機肥料を使って米を育てる方法を学びたいと思っています。

① ニックネーム・ARI Nickname

② 活動内容・Activities

学校法人

アジア学院

は、1973年の創立以来アジア、アフリカ、太平洋諸国等の農村地域から、その土地に根を張り、その土地の人々と共に働く「草の根」の農村指導者(Rural Leader)を学生として招き、栃木県那須塩原のキャンパスで、国籍、宗教、民族、習慣、価値観等の違いを認めつつ、公正で平和な社会実現のために、実践的な学びを行っている学校です。

9ヶ月間の農村指導者養成の研修は、いのちを支える「たべもの」作りこだわり、有機農業による自給自足を基本としています。学生たちは座学、ディスカッション、見学研修、グループ単位での農場運営を通して、自国のコミュニティの自立を導くリーダーシップを養います。アジア学院では、研修を受ける金銭的な余裕のない草の根で働く人々に研修の機会を与えるため、海外からの学生渡航費、研修費をほぼ全額負担しています。

そしてこのアジア学院の活動は、皆様のご厚意と寄付によって支えられています。

カメルーン Cameroon



アゲム・ビビアン・アンウィ
Ms. Agem Vivian Anwi

国際開発の働き手
Hands of Development International

農業指導員
Field extension worker

① ビビアン・Vivian

② アジア学院では、現在の私が持っている能力の向上を中心とした知識や技術、または適正技術を学ぶことを期待しています。アジア学院での研修を終えた後は、コミュニティの農業の持続性を改善し、広範囲で広がった貧困や飢えを無くしたいと思います。



アケティニモ・オーステン・ジベン
Mr. Aketinihoh Austen Yiven

マルチ・グリーン・インベストメント
Multi-Green Investment - Common Initiative Group (MGI-CIG)

農業指導員
Field Manager

① ジベン・Yiven

② 私は自然と触れ合うことが好きで、農業の実践は農村のコミュニティにおいて経済的安定を作り出す理想的な方法だと考えています。若者として祖母と共に農場で働くことで農業をする決心をし、その中に喜びを見出すようになりました。私たちが土地に働きかけ育てると、土地が私たちを育ててくれます。



エピエ・ダーリーン・トゥベ
Ms. Epie Dareen Ntube

農村青年リーダーシップと持続可能な開発
Rural Youth Leadership and Sustainable Development (RUYOLSUDEV)

農業指導員
Agricultural Extension Worker

① ダーリーン・Dareen

② 私は、社会から疎外された女性と若者が農業できるように農具を提供し、土壌を汚染しない農法を教えるように食糧生産を向上させています。アジア学院では、土壌改良、作物栽培、家畜飼育における持続可能な技術の知識を増やしたいと思っています。

カメルーン Cameroon



ネリー・シェラ・チャップチュット・ヨンガ
Ms. Nelly Shella Tchaptcheut Yonga

農村女性開発センター (RUWDEC)
Rural Women Development Center (RUWDEC)

コーディネーター
Coordinator

① ネリー・シェラ・Nelly Shella

② 私は、女性や若者、弱い立場の子供たちを対象とした農村コミュニティの生活水準を向上させるプロジェクトを責任者として監視しています。アジア学院では、コミュニティの農家と共有できる最適な食糧生産法や農法について総合的に学びたいと思っています。

バングラデシュ Bangladesh



ローマン・バルア
Mr. Ruman Barua

立正佼成会 バングラデシュ教会
Rissho Kosei-Kai Bangladesh

企画調整員
Volunteer Project Coordinator

① ローム・Rome

② 私は、バンドルバン丘陵地帯の農村で活動しています。住民のほとんどはとても貧しく、十分な教育を受けることができず、それが経済成長や健康的な生活を送る障害となっています。私は、例を用いたり一緒に活動することで教えようとしていますが、その必要性はもっとあることに気づきました。私の夢は、研修施設を開設することです。



ウー・トゥアイ・ヌ・マルマ
Mr. U Thoi Nu Marma

立正佼成会 バングラデシュ教会
Rissho Kosei-Kai Bangladesh

農村開発指導員
Rural Development Coordinator

① マルマ・Marma

② バングラデシュのバンドルバン地区にある立正佼成会のボランティアとして、地域で社会から疎外された人々を対象に、農業を中心とした生活向上プロジェクトの手助けをしています。アジア学院では、組織や農場の運営、食料の保存方法について学びたいと思っています。

インド India



アーシャ・ケンチャマナホスコテ・ジャヤツパ
Ms. Asha Kenchammanahoskote Jayappa

コグ農村開発機構
Coorg Organisation for Rural Development

地域開発指導員
Community Organizer

① アーシャ・Asha

② 私は、私自身も属する部族のコミュニティと共に働く地域組織の責任者で、土地の所有権についての指導や、若者を巻き込んだ地域改善プロジェクトの手助け、女性や子どもの教育を提唱しています。私は部族の人々が、有機的で持続可能な農業をできるように働きかけることができるようになるためにアジア学院に来ました。



ウィリントン・ムングレイ
Mr. Willington Mungrei

自助努力開発機構 ルンレイ地区
SHIDO-RA, Self-Help Initiative Development Organization, Runrei Area (SHIDO)

副主事・農業指導員
Asst. Secretary and Field Worker

① ウィリン・Willing

② かつて有害な農法を用いていた者として、自然と調和した農法を学び、コミュニティに広めたいと考えています。また活力に満ちた、価値のある「人に仕える指導者」としての生き方を学びたいと思っています。

東ティモール East Timor



ルイ・サルメントゥ・アラウズ
Mr. Rui Sarmento Araujo

ウマイタニアム(私たちの家)クリニック
Uma Ita Nian Clinic, Catholic Diocese of Dili

農業指導員
Trainer

① ルイ・Rui

② ウマイタニアムクリニックにおける食糧生産プログラムの農業専門家として、土壌改良による野菜収穫量の向上方法や、適切な家畜の飼育方法を地域の農家に指導しています。アジア学院では、堆肥や土壌作り、小規模農技術について更に学ぶことを目的としています。

フィリピン Philippines



エメリンダ・クヤング・オンカル
Ms. Emelinda Cuyang Ongcal

ゴスペルホールに集うクリスチャンの会
Christians Meeting in Gospel Hall, Inc. (CMGHI)

ボランティア教師、スタッフ補助
Full Time Volunteer Teacher and Staff Support

① ミミ・Mimi

② 私が子どもの教育において目的としていることは、読み書きの習得だけでなく、学習の中に楽しさと思いを組み込むことで、神の愛を体感することです。アジア学院では、リーダーシップの能力を身につけ、自信を持ち、私のコミュニティの農民が持続可能な農業を実践する支援ができるようになります。



フリダ・ドミンゴ・ラバン
Ms. Frida Domingo Laban

アエタ子供の家
AETA Children's Home

教師
Teacher

① フリダ・Frida

② 私は教師として、サンバレス州のアエタ児童養護施設で4年生を教えています。同時に、野菜の栽培とヤギと豚の飼育プログラムを運営することで施設に食料を供給しています。私はアジア学院のプログラムに参加することで、「神様が、私が貧しい人々の手助けをするために私をどのように用いて下さるのかを学びたい」と思っています。



サイキ・マリー・ポーラス
Ms. Psyche Marie Porras

コミュニティ開発包括的生活センター
Holistic Living Center for Community Development, Inc

コーディネーター
Coordinator

① サイキ・Psyche

② 私の活動する包括的生活センターは、人々が、自分の口にするものや生活スタイルを認識し、どうすれば病気を予防できるのかを啓もうする活動しています。私たちは幼い子どもたちを対象に活動し、どのような生活を送り、遊ぶか、またそれがコミュニティにもたらす影響を考えてもらいたいと思っています。

ミャンマー Myanmar



ハリ・マウ

Mr. Hrie Mau

マラ福音教会(奉仕・開発部)

Mara Evangelical Church - Service and Development Department (MECSDD)

企画調整員・財務

Program Coordinator, Finance Coordinator (SDD)

① マウ・Mau

② 私たちのコミュニティは、生産性の低い、慢性的な食糧不足と貧困をもたらす焼き畑農業を行っていますが、この状況でから脱するための持続可能な農業技術と知識がありません。アジア学院ではこれらの技術を学び、計画中のコミュニティの展示農場で実際にやってみせることができるようになります。



サムエル

Mr. Samuel

カエヌムズング農村開発機構

Khawnum'zung Rural Development Organization (KRDO)

コミュニティ指導員

Community Trainer

① サムエル・Samuel

② 私は、社会経済的に危険にさらされ、立場が弱く、宗教を理由に無視され、政治的に抑圧され、存在しないものとして扱われている人々と共に活動しています。KRDO のコミュニティ指導員として、人々の財務知識や、コミュニティの健康の向上を目指しています。私はアジア学院で人に伝えるよりよい指導者となり、学んだ知識をコミュニティで共有できるようになりたいです。

リベリア Liberia



ジェネ・コリスン

Ms. Jenneh Korlison

地域女性エンパワメント機構

Community Women Empowerment Organization (COWEO)

女性ネットワーク調整員

Women Network Coordinator

① ジェネ・Jenneh

② 私は、昔から男性が主導権を持つ多宗教のコミュニティで活動しています。私たちは、現金収入を得ると同時に家族のために農産物の生産量を増やす方法を示しながら、女性グループを設立、発展させ、支援しています。そして、女性が家族や地域の事柄の決定に積極的に関わることができるように教え、手助けをしています。

ガーナ Ghana



オーガストゥス・セナ・レツクマ

Mr. Augustus Sena Letsukuma

福音長老教会(開発・救済局)

Evangelical Presbyterian Development and Relief Agency (EPDRA)

農業開発指導員

Program Officer, Agricultural Extension Services

① セナ・Sena

② 私は、土壌と水の保全方法やマーケティングの組合形成について農家に教える職員を指導しています。アジア学院では、有機農業の知識を増やし、指導者としての能力を向上させ、共同生活の中で他の学生から多くのことを学びたいと思っています。

タイ Thailand



タラナツ・リンナサ

Ms. Thanarat Rinnasak

自由宣教財団

Original Liberty Mission Foundation

コーディネーター

Coordinator

① ジュー・Ju

② 私は、タイ中部の宣教団体で奉仕活動のコーディネーターとして働いています。私の団体は、アジア学院の研修後に私が農場を設立することを期待しているので、私は有機農業についてできるだけ多くのことを学びたいと思っています。

ジンバブエ Zimbabwe



タファズクワ・ドロシー・ムコンドゥク

Ms. Tafadzwa Dorothy Mukondwa

ヘザーチムホガ孤児ケアセンター

Heather Chimhoga Orphan Care (HCOC)

ソーシャルワーカー

Social Worker

① タフィ・Taffy

② 私は常任のボランティアで、孤児や立場の弱い子どもたちの世話をしています。私の任務は子どもたちに健康的な暮らしを提供することで、給食管理や、調理スタッフの管理、ニフトリヤモリンガの葉プロジェクトのための資金集めなどです。アジア学院では、リーダーシップや、プロジェクト管理、有機農業について学びたいと思っています。

ハイチ Haiti



ニクソン・リンシェー

Mr. Nixon Rincher

ハイチの会セスラ/セスラコミュニティプロジェクト

Haiti-no-kai CESLA / CESLA Community Project

英語教師、総主事

English Teacher, General Secretary CCP

① ニクソン・Nixon

② 指導者として、グループやコミュニティを指導するのに十分な能力を身に付けなければいけないと思うので、リーダーシップについてより多くのことを学びたいです。現在私のコミュニティの一番大きな課題は食糧なので、家畜の飼育や野菜の栽培がコミュニティの助けとなることを期待しています。

日本 Japan



武井 真希子

Ms. Makiko Takei

① マキコ・Makiko

② 看護婦として働くなかで、高度医療技術に疑問を抱くようになりました。半年間デンマークで、世界の飢餓、貧困、格差について学ぶ機会を得、今年はアジア学院で、人々の健康と命を良い食べ物を通して支援する方法を学びたいと思っています。



蓮見 千明

Ms. Chigira Hasumi

① チギラ・Chigira

② 私はアジア学院で学ぶために、今年一年間大学を休学しています。開発のために草の根の人々が苦しんでいる状況を大学で学び、持続可能な社会に本当に開発が必要なのかどうか考えるようになりました。アジア学院では、自分が社会のために何ができるのかを探りたいです。

研究科生 トレーニング・アシスタント Training Assistant

研究科生は学院を卒業後5年以上自国で働いている卒業生の中から選ばれます。学院において自分の専門分野の研修を行うと同時に、職員を補助して学生の研修を助けます。

カメルーン Cameroon



オスカー・クエチエ・フォーツィン

Mr. Oscar Nkweche Fortsin

農業 Farmer

① オスカー・Oscar

② 2006年度私は学生として、豚や豚の副産物の活用について様々な経験を得ました。研究科生として私は、帰国後にカメルーンで複合農業学校を開設するため、指導者の能力を高めたいと願っています。孤児や弱い立場にある子どもたちを集め、自立のための知識を身に付けさせたいと考えています。

(2006年度卒業生)

アジア学院の卒業生

1,361 名

アジア学院を卒業した農村リーダーたちは自国で農業を中心とした農村開発に取り組んでいると思いがちですが、実際は大変幅広い分野で働いています。環境保護、教育、小口金融に関わる卒業生もいれば、女性や原住民の権利や難民支援のために活躍する者もいます。アジア学院が理想とする仕える指導者として、その時その場のニーズに応じて、「共に生きる」精神を世界中に広めています。

鶴川学院 農村伝道神学校 (1960~1972)
東南アジア農村指導者養成所
・卒業生 116名・17カ国

学校法人 アジア学院 (1973~2016)
アジア農村指導者養成専門学校
・本科生 1,158名・57カ国
・研究科生 87名



サポーターとして 世界の農村指導者の未来に投資しませんか？

アジア学院では、研修を受ける金銭的な余裕のない草の根で働く人々に研修の機会を与えるため、海外からの学生渡航費・研修費をほぼ全額負担しており、学院の運営は皆様のご支援によって成り立っています。

学生一人当たりにかかる1年間の費用は授業料と生活費が合わせて172万円、渡航費が25万円(平均)です。サポーターとして継続的に世界の農村リーダー養成にご支援頂ける方を募集しています。詳細はお電話又はホームページからお問い合わせください。

ご寄付について

1万円以上の寄付に対しては特定公益増進法人への寄付に対する税の減免措置がございます。ご希望の方には「減免措置領収書」をお送り致しますのでその旨お知らせください。

郵便振替

振込口座：郵便振替 00340-8-8758

口座名義：学校法人 アジア学院

お名前、電話番号、郵便番号、住所をご記入くださいますようお願いいたします。

銀行振込

【足利銀行】

支店名： 西那須野支店

口座番号： (普通預金)112403

口座名義： 学校法人 アジア学院 理事長 大津健一

【ゆうちょ銀行】(口座間送金の場合、手数料がかかります)

記号： 10700 番号： 8002711

口座名義： 学校法人アジア学院

2017年度 奨学金支援団体

(一財)アジア農村交流協会、アメリカ福音ルーテル教会(ELCA)、(財)新倉会、日本キリスト教協議会(NCCJ)女性委員会*、(財)大阪コミュニティ財団、(カ)聖コロンバン会、(カ)聖心会、(公財)ウェスレー財団、(公)聖テモテ奉仕奨学金委員会、カナダ合同教会、あすなる基金、五十嵐基金、(社)東京アメリカンクラブ、アジア学院サポーターの会、合同メソジスト教会世界宣教局(GBGM)、東京南ロータリークラブ、アメリカンスクールインジャパン水泳部*、(一財)日本福音ルーテル社団(JELA)、(一財)まちづくり地球市民財団*、(独)日本学生支援機構(JASSO)、北米アジア学院後援会(AFARI)、東京霞ヶ関ライオンズクラブ、(公財)森村豊明会、(公信)久保田豊基金

*申請中(5月20日現在)